

# 令和2年度「民間試験を活用した英語4技能向上事業」

## 報告書 D高校

### 1 令和2年度入学生の指導に係る全体計画 **Plan**

技能	1年	2年	3年
Reading	<p>(指導計画) 音読テスト パフォーマンステスト</p> <p>(力) 意味のまとまりを捉えながら約400語程度の英文を70wpm程度で読むことができる。</p>	<p>(指導計画) 音読テスト パフォーマンステスト</p> <p>(力) 約800語程度の英文を90wpm程度の速さでほぼ理解できる。</p>	<p>(指導計画) 音読テスト パフォーマンステスト</p> <p>(力) 約1200語程度の英文を130wpm程度の速さで内容を理解し、それに対して自分の考えを簡単な英語でまとめられる。</p>
Listening	<p>(指導計画) 授業での Oral Introduction 教科書でのリスニング リスニング教材、外部検定</p> <p>(力) ALTがゆっくり話す英語の内容を正しく理解できる。短い基礎的な英文をディクテーションできる。</p>	<p>(指導計画) 授業での Oral Introduction 教科書でのリスニング リスニング教材、外部検定</p> <p>(力) 教科書の新出語句の知識があれば普通の速さで聞く英文をほぼ理解できる。</p>	<p>(指導計画) 授業での Oral Introduction 教科書でのリスニング リスニング教材、外部検定</p> <p>(力) 未習の語を含む、やや難しい英文を聞いて内容を理解し、必要な情報を捉えることができる。</p>
Speaking	<p>(指導計画) 授業でのペア活動 ALTとのTT、スピーキング教材、外部検定</p> <p>(力) 自分自身のことや、身近なテーマについて短いやりとりができる。</p>	<p>(指導計画) 授業でのペア活動、リテリング、スピーキング教材 外部検定</p> <p>(力) 状況に応じてコミュニケーションを何とか続けることができる。</p>	<p>(指導計画) 授業でのペア活動、リテリング、プレゼンテーション 外部検定</p> <p>(力) 簡単なメモを見ながら5分程度のプレゼンテーションができ、それについての質問に適切に答えられる。</p>
Writing	<p>(指導計画) 教科書課末の英作文 ALTの授業での英作文 外部検定</p> <p>(力) 自己紹介や自分の街の紹介などいくつかの情報を英語で正しく伝えることができる。</p>	<p>(指導計画) 教科書課末の英作文 要約 外部検定</p> <p>(力) 既読の英文をまとめ、それに対して自分の意見を英語で表すことができる。</p>	<p>(指導計画) 教科書課末の英作文 週末課題のテーマ作文 外部検定</p> <p>(力) 社会問題に対する自分の意見とその理由を論理的な文章で書くことができる。</p>

2 試験結果を踏まえた (1) 現状分析、(2) 重点課題、(3) 重点課題の克服に向けた実践 (指導と評価の工夫) **Do**

技能	(1) 現状分析	(2) 重点課題
	(3) ①実践 (指導の工夫)	(3) ②実践 (評価の工夫)
Reading	(1) 平均スコア 129.1 (A1.3) 55.4wpm 簡単な文章の大まかな流れを理解する力はある。 語彙力が不足している。	(2) 教科書の導入において読む速度を意識させながら概要を理解させる。 語彙力を高める。
	(3) ① 朝テスト以外の日に朝自習として単語の CD を流し、覚えることを意識させた。	(3) ② 授業中に初見の短い英文を読ませ、評価した。
Listening	(1) 平均スコア 131.7 (A1.3) 英文を聞いて「意味のまとまり」ごとに区切り、状況をイメージして、全体の意味を捉える力はある程度ついている。	(2) 英語を聞き取ることの抵抗感をなくす。また英語を耳にする機会を増やす。音読の工夫をする。
	(3) ① 細かいところのリスニング力をつけるため、ディクテーションを行い、授業中に、確認のアクティビティを行い、復習することを徹底した。	(3) ② 定期的にはリスニングテストを行い、学期末の評価に入れた。
Speaking	(1) 平均スコア 188.9 (A1.3) 身近な話題について、複数の文で話すことができる力はある。	(2) 英語を話すこと、間違えた時の恥ずかしさが依然として根強く残っている。
	(3) ① スピーキング教材を使い身近な話題について英語で話す練習を行った。英語表現において暗唱例文の言いかえをする練習を Unit 終了ごとに行った。	(3) ② スピーキングをさせる際には最初、正確性をあまり求めず、流暢さ、声の大きさや表情を観点に入れ授業中のスピーキング評価を行った。
Writing	(1) 平均スコア 166.5 (A1.3) 基本的な英文をつなげて短い文章を書く力はある。	(2) 1文の正確性を持ちながらある程度まとまりのある文章を書けるようになる。また論理的に自分の意見を述べられる力を身に付けさせる。
	(3) ① 英語表現の授業において Unit の最後の自由英作文に取り組みせ、書くことに慣れさせた。	(3) ② 自分の英作文を書いた後にペアまたはグループにおいてお互いの英作文を読み論理的に英文が書けているか相互評価する機会を作った。

3 実践の検証 **Check** 及び改善案 **Act**

技能	実践の検証	改善案
Reading	① パラグラフリーディングにおいて積極的に取り組んでいる様子が見られた。しかし、読むスピードに課題が残る。	① 授業や朝自習の時間を使い、時間を区切って速読のトレーニングを実施していく。
	② 単語テストを週1回継続的に行い、不合格者には再テストを実施し、生徒にやらなければいけないという気持ちを持たせることができた。	② 今後も継続的に単語・熟語の知識を身につけさせ、長文読解するうえで必要な知識であることを理解させたい。
Listening	① 週1回リスニング教材を使ってディクテーションまで行い、次週の復習も表現を言えるように練習する生徒が増えた。	① 授業中に継続的にリスニングを行ったり、英語での指示をするなどして、英語を聞くことにより一層抵抗感をなくしていく。
	② リスニングスキプトの音読を何度もする中で英語のリズムに慣れさせることができた。	② リスニング教材だけでなく、コミュニケーション英語や英語表現の授業の教材の中でも音読やバックトランスレーションを用い、表現を体得できるようにする。
Speaking	① スピーキング教材を使い、ペアワークを行ったが、生徒は積極的に対話練習をすることができた。	① 対話練習だけに終わらず、表現を覚えることで応用的なスピーチなどに取り組みせたい。
	② 8月以降ALTが不在となり、予定していたスピーキング活動に支障をきたした。コミュニケーション英語の授業の中でレッスンのテーマに沿った内容で意見を述べたりする活動を積極的に行った。	② 今後もALTのいない授業となるので、普段の授業の中で話す機会を多くとっていきたい。
Writing	① 既習の文法事項を使って英作文を書くことに慣れさせた。	① 教科書の範囲だけでなく、自由英作文などにも挑戦させたい。
	② 英作文の相互評価では同じクラスの友人がどれくらいかけているか自分と比較でき、やる気を促すことができた。しかし文法的な間違いを指摘するまでには至らなかった。	② 今後の授業でも継続し、ある程度の文法的な間違いは指摘できるまでにしていきたい。